

ご挨拶

北海道厚真高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

厚真高校は、苫小牧市中心部の北東、千歳市中心部の南東約30kmの位置する厚真町にあります。歴史は古く、昭和28年に町立の定時制普通科の高校として開校し、昭和52年に全日制普通科を設置、昭和59年に道立移管され現在に至り、今年で創立71年目を迎える全日制普通科1間口の高校です。

令和6年度は、1年生26名、2年生26名、3年生21名の計73名でスタートしました。本校の学校教育目標は『よき市民、よき社会人を育てる』であり、「ちいさくて あったかい 厚真高校 ～生徒一人ひとりを大切にする学校～」をキャッチフレーズとしています。小規模校ならではの細やかな指導と、恵まれた自然環境や地域の様々な教育環境・資源を活用したプログラムにより、生徒と教員がともに学ぶ姿勢で教育活動を実践しています。今年度、スクールポリシーの一部を改訂し、『厚真高校が目指す「5つの力」』を定めました。①基礎的・基本的な知識・技能 ②課題解決力（主体的に考え・行動することで、課題を把握し、改善・解決する力） ③人間関係構築力（自分を知り、相手の気持ちを推察することにより、良好な人間関係を築く力） ④協働力（互いの良さを認めながら、共に取り組む力） ⑤キャリア形成力（生き方や進路について考え、自らを律し行動する力）の5つです。本校で育成を目指す資質・能力をより明確に表すことができたと考えており、今後これに基づき教育活動の一層の充実を図ってまいります。

令和元年8月より厚真町のご理解とご協力のもと、学校給食を実施しております。おかげさまで、生徒たちは暖かい給食を仲間と食べる素敵な時間を過ごすことができているようです。また、英語の授業では2名のALTが来校し、実践的なスキルの習得に力を入れています。

昨年度は、地域連携による部活動である陸上部の生徒2名が、全国大会への出場を果たしました。美術部・写真部も高文連全道大会に出品しています。また、校外でサーフィン・空手に取り組んでいる生徒が、全国大会で活躍（空手の生徒は優勝）しました。また、令和4年4月より、町の教育魅力化支援事業の一環として公営塾『よりみち学舎』が開設され、放課後や休日等に活動しています。「高校生活魅力化」をスローガンに生徒が自ら目標を発見し挑戦する場となっており、昨年度は震災ガイドボランティアの活動が、多くのメディアにとりあげられ話題となりました。このように、何人もの生徒が自分の興味関心・長所を生かしながら、一生懸命努力する姿を見ることができました。

本校の教育活動は、恵まれた学習環境と豊かな自然環境、そして何よりも厚真町をはじめ、地域への限りない愛情を抱く人々によって支えられています。令和5年3月には学校運営協議会が設立され、本校はコミュニティー・スクールとして本格的に歩んでいます。今後とも地域の皆さまとともに、生徒の成長を促す、地域に根ざした教育活動を推進してまいります。

このホームページを始めとして、本校の教育活動に触れていただき、ご理解とご協力をいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



令和6年4月
北海道厚真高等学校長 佐 瀬 雅 彦